

2022年2月期 第2四半期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2021年11月30日



連結業績の概要

2021年3月1日～2021年8月31日

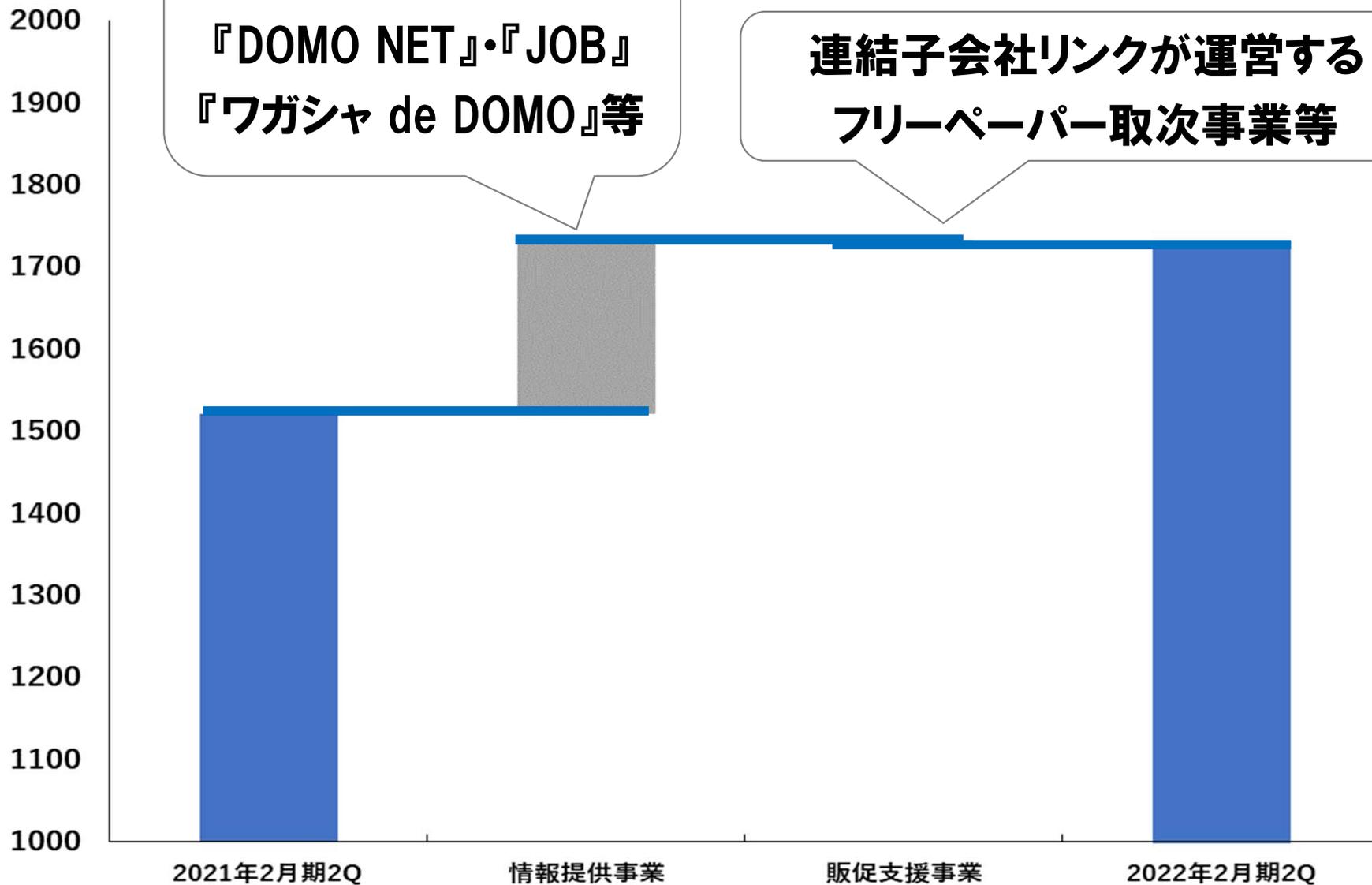


2022年2月期 2Q累計業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2022年2月期Q2累		2021年2月期Q2累		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		1,723	100.0	1,511	100.0	212	14.0
売上原価		562	32.6	604	40.0	△42	△7.0
	印刷費	135	7.8	138	9.2	△3	△2.4
	労務費	54	3.1	98	6.5	△44	△44.9
	その他売上原価	372	21.6	367	24.3	5	1.5
売上総利益		1,161	67.4	907	60.0	254	28.0
販管費		1,246	72.3	1,227	81.2	18	1.5
	人件費	753	43.7	725	48.0	28	3.9
	広告・販促費	206	12.0	185	12.3	21	11.3
	流通費	40	2.4	59	3.9	△19	△31.9
	その他販管費	245	14.2	257	17.0	△11	△4.6
営業利益		△84	△4.9	△320	△21.2	235	—
経常利益		△75	△4.4	△320	△21.2	245	—
税金等調整前		△75	△4.4	△320	△21.2	245	—
四半期純利益		△64	△3.8	△313	△20.7	248	—
EPS		¥△2.45		¥△11.86			

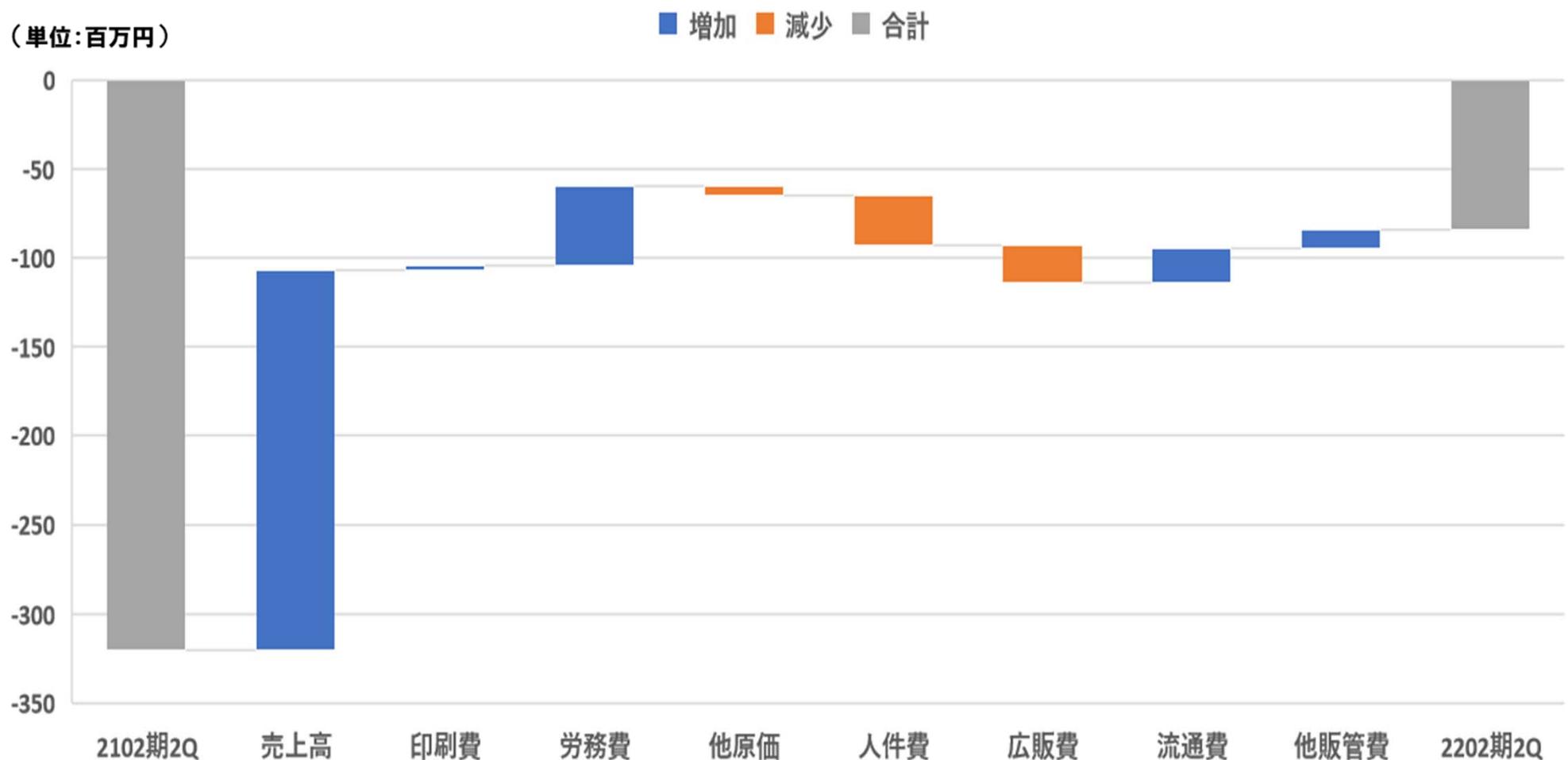
2022年2月期 2Q累計業績(セグメント別売上高)

(単位:百万円)



2022年2月期 2Q累計業績(営業利益の増減要因)

営業利益増減要因



2022年2月期 2Q累計業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2021年8月末		2021年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	3,860	79.7	3,991	81.6	△131	△3.3
	固定資産	983	20.3	898	18.4	85	9.5
	資産合計	4,843	100.0	4,890	100.0	△46	△0.9
	流動負債	564	11.7	553	11.3	11	2.0
	固定負債	13	0.3	15	0.3	△1	△12.3
	負債合計	578	11.9	569	11.6	9	1.6
	資本金	455	9.4	455	9.3	—	—
	資本剰余金	526	10.9	540	11.0	△13	△2.5
	利益剰余金	4,335	89.5	4,399	90.0	△64	△1.5
	自己株式	△1,062	△21.9	△1,076	△22.0	13	—
	株主資本	4,255	87.8	4,320	88.3	△64	△1.5
	その他包括利益累計額	9	0.2	0	0.0	9	—
	純資産	4,265	88.1	4,320	88.4	△55	△1.3
	負債・純資産合計	4,843	100.0	4,890	100.0	△46	△0.9
	BPS	¥161.60		¥163.70			

2022年2月期 2Q累計業績(CF)

金額・増減額:百万円	2022年2月期Q2累	2021年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	16	△227	243
投資活動CF	△81	5	△86
財務活動CF	△2	△185	182
換算差額	△1	△1	0
増減額	△69	△408	339
期首残高	3,488	4,164	
期末残高	3,419	3,756	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前四半期純損失が75百万円、未払債務の減少額が53百万円となった一方で、減価償却費が17百万円、法人税等の還付による収入が33百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が100百万円、関連会社への貸付回収による収入が10百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

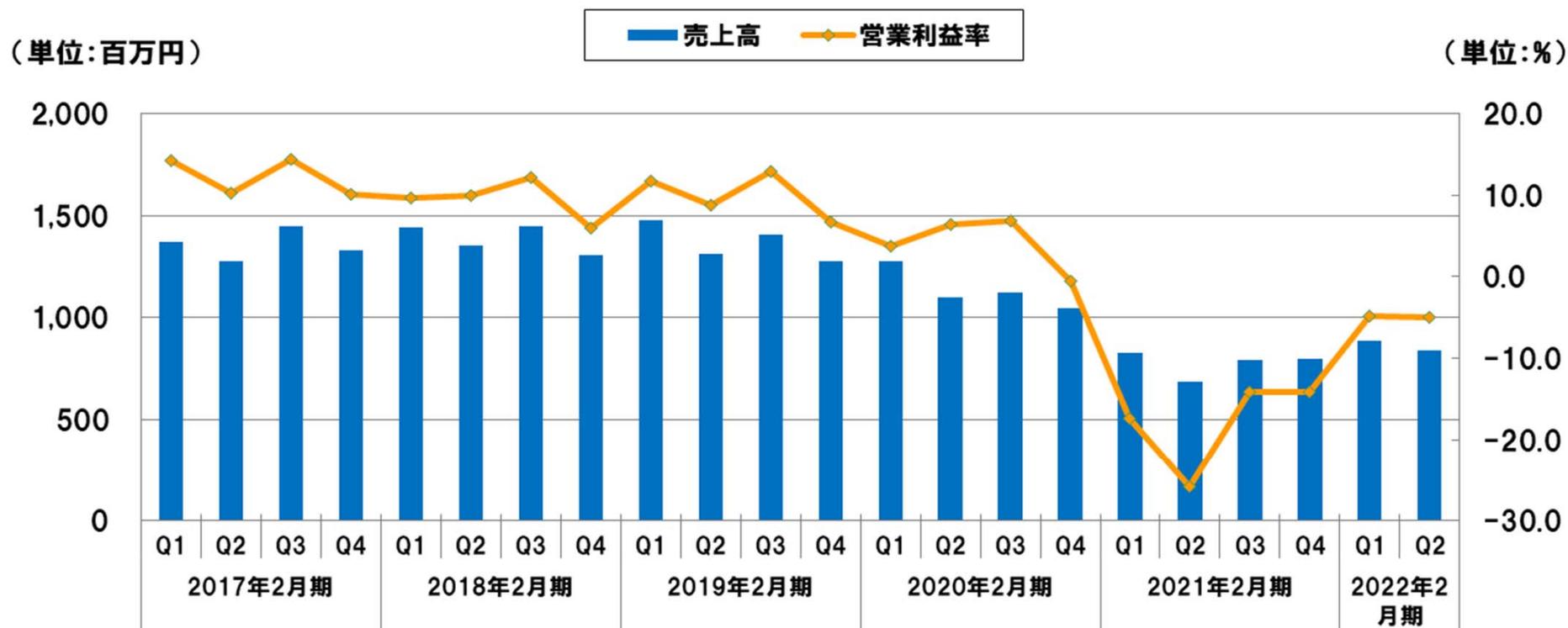
- ◆ 主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出が1百万円等となったためです。

当第2四半期の総括

2021年3月1日～2021年8月31日



経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。当期は前期に引き続きコロナ感染症拡大の影響により採用環境は依然として厳しいものの、採用マインドは下げ止まり傾向にあります。売上も徐々に回復し、コスト圧縮効果と併せ営業赤字ではありますが、損失額は減少となりました。
- ◆ 当社の今後の対策といたしましては、前期に継続し、『ワガシャ de DOMO』の拡販に注力することや費用対効果を踏まえたコストコントロールを同時に行っていきます。また、非接触型のインサイドセールスへの転換や多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、新型コロナウイルス感染症拡大終息後の雇用環境の回復時に向け、当社の再成長に向けた準備を着実に推進してまいります。

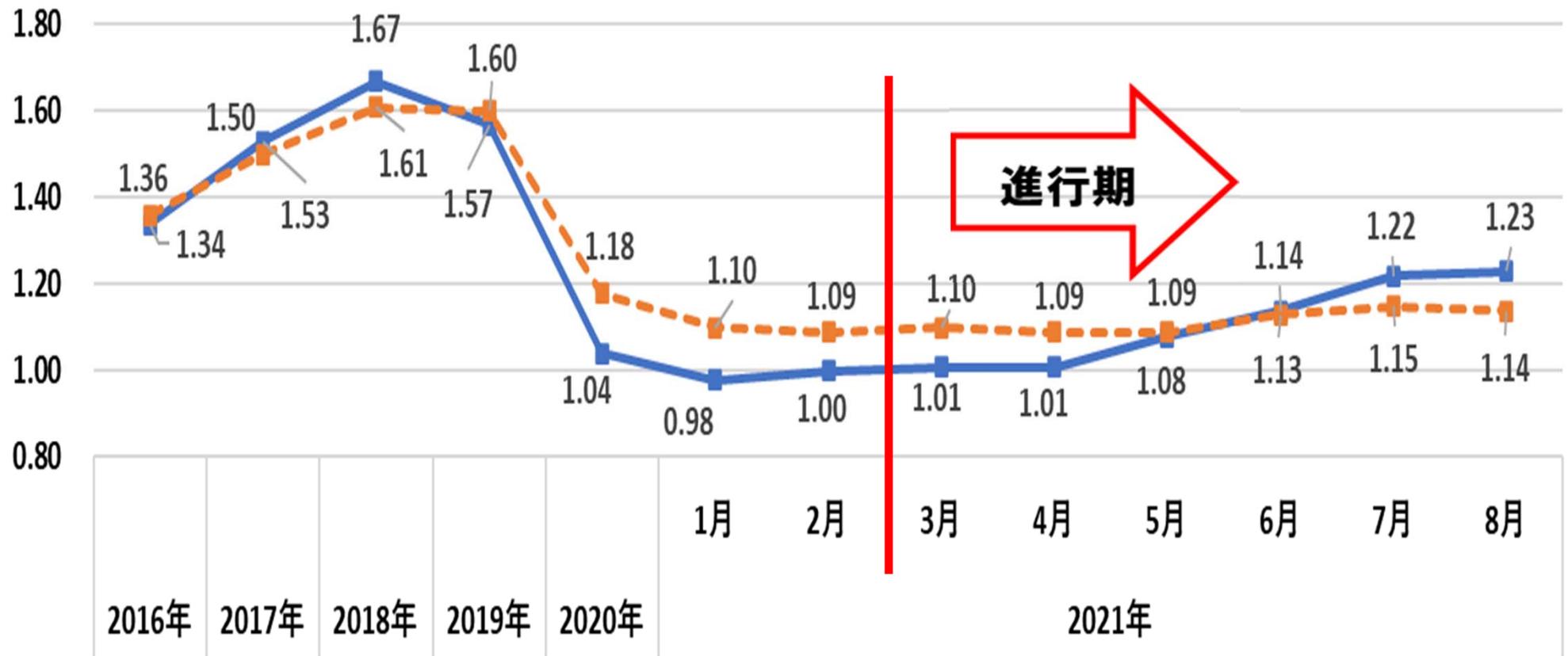
事業環境

有効求人倍率推移

出所: 静岡労働局 雇用労働統計より当社作成

(単位:倍)

■ 静岡県 -■- 全国



重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販による売上増
(売上高5.44億円、前期比60.6%増)

ワガシャ  DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

➤ 機能追加・オプションサービスの開発により顧客満足度の向上を図る

応募管理の一元化を図る『ワガシャ de 応募管理』の導入

『DOMONET単発バイト特集』への参画可能

『応募単価シミュレーター』の実装

『採用ブランディングトップページ』の導入



連結業績予想

2021年3月1日～2022年2月28日

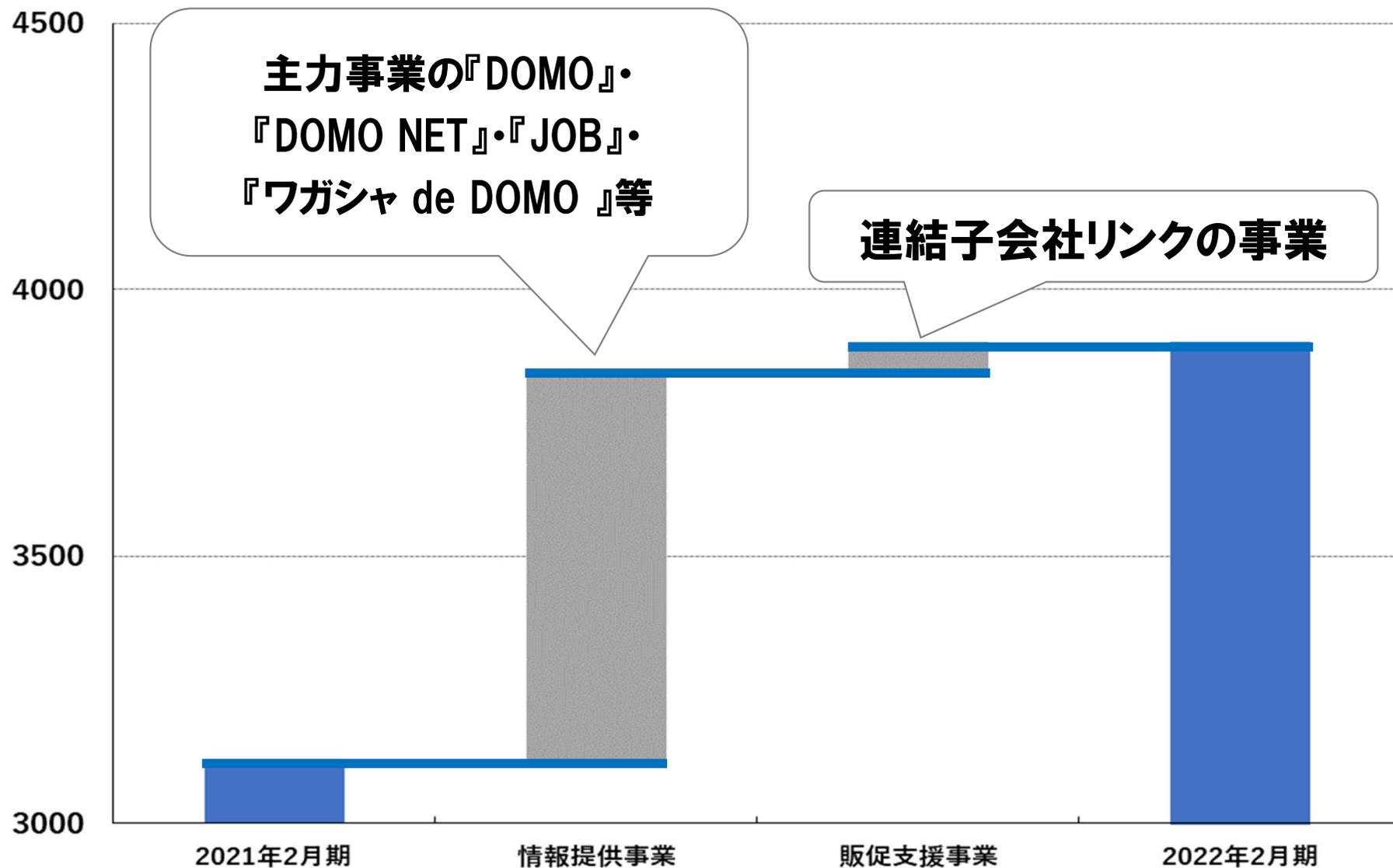


業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2022年2月期		2021年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,886	100.0	3,100	100.0	785	25.3
売上原価	1,170	30.1	1,156	37.3	13	1.2
印刷費	285	7.3	277	8.9	8	3.0
労務費	128	3.3	172	5.6	△44	△25.9
その他売上原価	756	19.5	706	22.8	50	7.1
売上総利益	2,715	69.9	1,943	62.7	772	39.7
販管費	2,685	69.1	2,488	80.3	196	7.9
人件費	1,627	41.9	1,465	47.3	161	11.1
広告・販促費	495	12.8	398	12.9	97	24.3
流通費	86	2.2	98	3.2	△12	△12.3
その他販管費	477	12.3	527	17.0	△49	△9.5
営業利益	30	0.8	△545	△17.6	575	—
経常利益	14	0.4	△518	△16.7	532	—
税金等調整前	14	0.4	△562	△18.2	576	—
親会社株主に帰属する当期純利益	17	0.5	△500	△16.1	518	—
EPS	¥0.66		△¥18.96			

セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



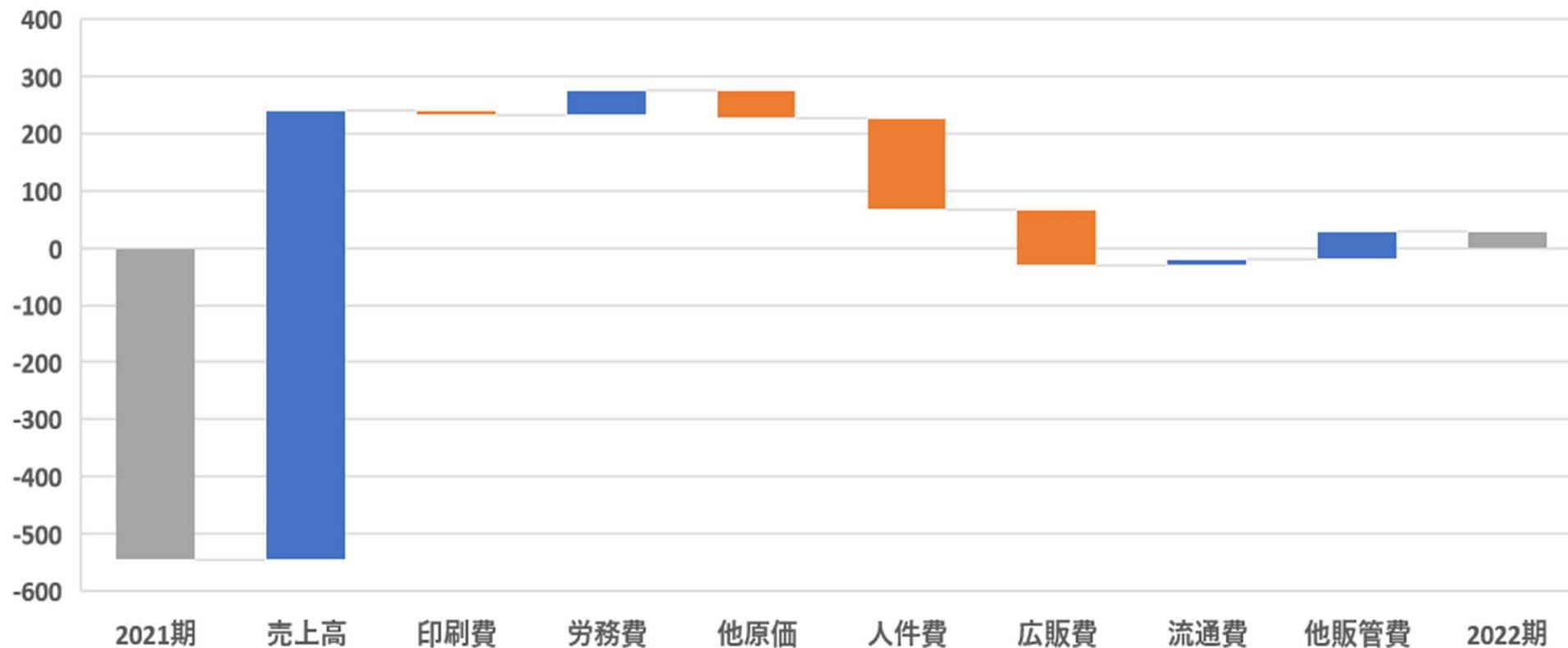
売上から営業利益までの内訳

売上増によるコスト増も事業所返還等による他コストの見直しを図る

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



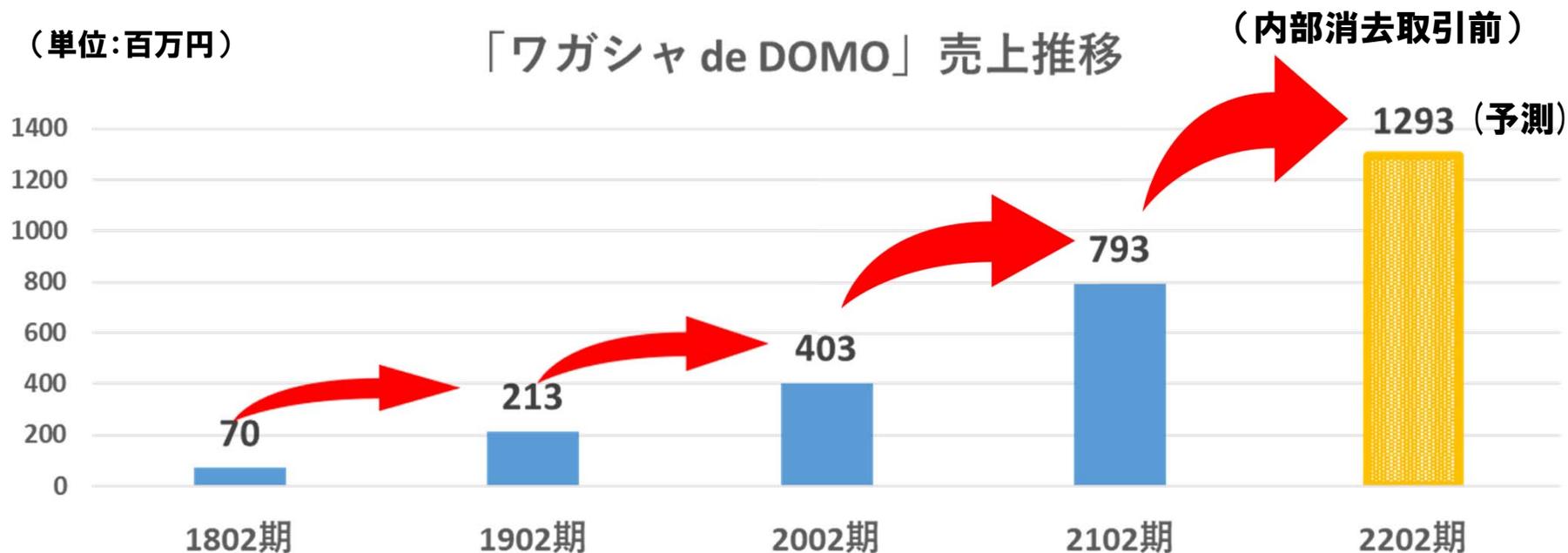
重点施策

「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販施策の継続

- 自社メディアとのコネク特追加及び利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大

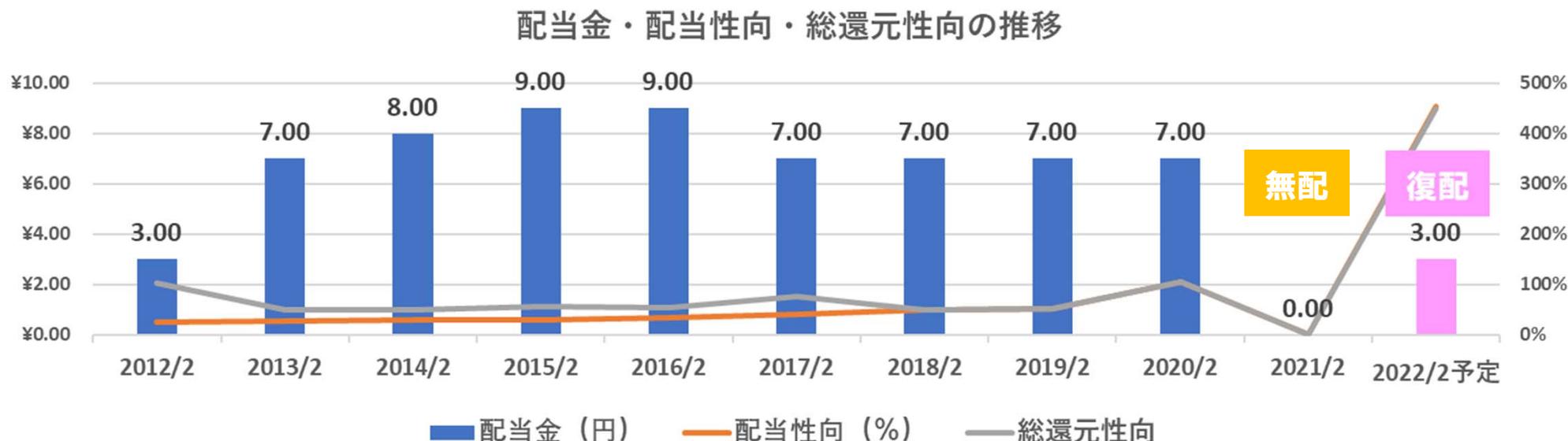
ワガシャ  de DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)



株主還元

黒字転換及び今後の事業展開や財務状況を勘案し、
次期は1株当たり3円の復配とさせていただきます。



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

2021年2月期においては、大幅な赤字転落したことを踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。2022年2月期は黒字転換する見通しであり、今後の事業展開や当社の財務状況等を総合的に勘案した結果、復配の目処がついたものと判断されることから、2022年2月期につきましては、1株当たり3円の期末配当を実施する方針いたしました。

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。



連絡先

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部 経営企画部

E-MAIL: ir@atimes.co.jp

HP: <http://www.atimes.co.jp>

